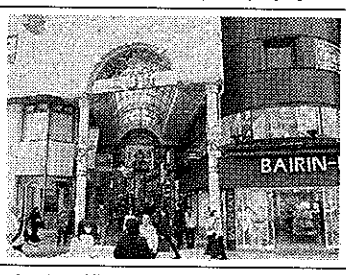
柏1丁目地区

商店街の再生検討へ

8月にまちづくり推進協発足



柏二番街商店街入り口

JR柏駅東口近くの商店街振興組合「柏二番街商店会」(千葉県柏市柏1の4の5)は、商店街再生に向け、街づくりの検討に乗り出す。二番街商店街を中心とした3・7㌶のエリアを対象に、再開発手法の活用を念頭に同地区の再整備を構想。その推進母体として、計画区域内の地権者や商店主らが集まり、「柏1丁目地区まちづくり推進協議会(仮称)」を発足させる。同協議会にはオブザーバーとして柏市や柏商工会議所、中小企業基盤整備機構も参画する予定。8月19日に柏市内で設立総会を開き、街づくりの本格的な検討に着手する。

計画地は、柏駅東口前にある商店街「二番街」と、二番街に隣接し丸井バット館や千葉興業銀行、三菱東京UFJ銀行などがある区域。

二番街は千葉県内初の全蓋式アーケードとして1972年に完成。95年のリニューアルで白を基調としたモール型に衣替えした。開閉設備を備えた半月形の高い屋根が特徴だ。アーケード内には長崎屋や丸井柏店などが軒を連ね、平日で約2万人、日曜・祝日には約3万人が足を運んでいる。

しかし、つくばエクスプレス(TX)開通後、TX沿線の商業施設に客足を奪われるなど、苦戦を強いられている。TX開業前のにぎわいを取り戻すと同時に、幅広い世代に受け入れられる商店街への刷新を試みようと、地権者や商店主らが同地区の再整備について、市の支援を受けながら検討を進めることにした。

推進協議会の設立後は、中小企業基盤整備機構の講師を招いて約1年間、街づくりの進め方を勉強する。具体的には、再開発事業で街づくりを実施する場合の補助金の活用法を把握したり、計画区域内のエリアマーケティング調査などを実施したりする。

当面、駅寄りのアーケード街を除く丸井バット館、銀行店舗を中心とした0・6㌶の区域を再開発構想の第1弾として具体化を目指す。3年後をめどに再開発準備組合を設立し、保育施設や医療機関をメーンとした再開発ビルへの建て替えを模索していく考えだ。

元気回復事業

福祉、里山づくりに挑戦

千葉建協 異業種参画に意欲

国土交通省の「建設業と地域の元気回復助成事業」に2件の提案を採択された千葉県建設業協会は、事業実施団体との準備などを進めている。千葉県で採択されたのは、ちば元気モリモリ会の「デイサービスとして遊休社屋等を活用した建設事業創出に関する事業」と、市原市東国吉地区里山整備協議会の「里山の賦活(ふかつ)と資源の有効利用方法の試行に関する事業」。協会では全国で唯一の福祉事業採択と、地域の自然環境持続に取り組む里山事業として、建設業の異業種参画に意欲を見せている。

ちば元気モリモリ会は、協会および千葉県、千葉大学、千葉県社会福祉協議会と建設業者が進める園芸療法とデイサービス事業の融合。園芸の単純な労働を通して心身の治療を促すもので、すでに千葉大学と島田建設(千葉県成田市)によるデイサービス業務の実績がある。今回は同事業の増設充実のため、拠点を整備する方策として、このサービス業に参入する新規事業者、サービス利用者向けに、低利用・遊休状態の社屋や住宅などをリフォームすることで、建設業の福祉事業参入機会を得るのが目的。8月30日に千葉県東葛テクノプラザで事業説明会を実施。今後6回程度の説明会を開催し、参加希望者を募っていく。

東国吉地区里山整備協議会は、建設協市原支部と市原市、千葉県森林組合市原支所による里山づくり。地域住民や里山活動団体が進める里山の保全に対して、自然景観を生かした道路整備や建築土木工事のノや、間伐材のを行い、地域るもの。山林路網の試行整生試行、竹資堆肥(たいひ)開する。

千葉建協はの参加というャンスの模索地域が将来問り組まねばな社会と福祉、地環境の維持保業ならではの能力を提供での協議会を通業の持つ可能ルしたい」と、下支え役割を生る。

いなげの浜でクリーン作戦

若築建設千葉支店など

若築建設の千葉、東京、横浜の3支店と協力業者で組織する東日本技術安全協議会(宮内輝司会長)は16日、千葉市美浜区の人工海浜「いなげの浜」で、ごみを清掃するクリーン作戦を行った=写真。海開きを前に毎年行っているもので、今年で17回目。社員や協力業者ら計150人が参加し、ごみ拾いに汗を流した。

クリーン作戦に当たり、同社東京支店の池水隆樹支店長が「いなげの浜の美化運動は、深刻化する環境問題の改善にもつながる。ごみ拾いにいい汗をかいて、がんばりましょう」とあいさつ。

続いて東日本技術安全協議会の栗原久和副会長が「清掃ボランティア活動は、行政、市民の方々から信頼を獲得できる重要な地域奉仕活動。今日はいい汗を流してください」と話した。

参加者は10班に分かれて、波打ち際や防砂林、消波ブロック周辺で木ず、ペットボ缶、ビンなどかけて拾い集93年から実いなげの浜は、これまで30人が参加。動が評価され、庁長官から同に感謝状が贈とになった。日に千葉市美ルニューオー行われる。

〈優良工事〉▽新日本工業＝町田立体下部(その8)工事
〈優良業務・優秀技術者〉▽ドーコン東京支店(井窪将)＝町田立体用地関連資料作成整理等業務▽大日コンサルタント東京支社(野口直樹)＝国道409号施工計画検討他設計業務▽国際航業神奈川支店(高橋守)＝東京湾岸道路空中写真測量等業務
【北首都国道事務所】
〈優良工事・優秀技術者〉▽加藤建設東京支店(磯部諭)＝圏央道五霞IC橋下部その2工事▽奥村組土木興業東京支店＝圏央道藤井高架橋下部その4工事▽村本建設東京支店＝圏央道木立高架橋下部その3工事▽青木建設＝圏央道茨城地区他道路予定地管理工事
〈優良業務・優秀技術者〉▽新日本技研東京支社(伊東賢)＝298号荒川石岸取付高架橋耐震補強詳細設計業務▽セントラルコンサルタント(富樫克哉)＝H19茨城圏央道五霞橋梁修正設計(その3)▽アーキ(村松敬一郎)＝平成20年度三郷国道出張所工事管理業務
【長野国道事務所】
〈優良工事・優秀技術者〉▽川中島建設(篠原篤仁)＝H19新山清路橋耐震補強他工事▽スワテック建設(藤森俊幸)＝H19切掛橋橋梁補修工事▽平林建設(春木健一)＝H19信州新町地区防護柵更新工事▽大澤塗装工業(小林久晃)＝H19川口橋塗装工事▽畑八開発(畑一成)＝H19小諸歩道設置その1工事▽矢木コーポレーション＝H20長野国道管内区画線設置工事
〈難工事功労〉▽小池組＝H20大塚南交差点改良他工事▽矢木コーポレーション＝H20長野～豊野除雪作業▽高木建設＝H20居町歩道融雪設備設置工事▽岩澤建設長野支店＝H20豊野～赤川除雪作業▽木下組＝H20上田除雪作業▽岡谷組＝H20岡谷除雪作業
〈優良業務・優秀技術者〉▽日本工営長野事務所(新屋浩明)＝H20長野国道管内防災詳細設計(その1)業務▽エイト日本技術開発東京支社(宮原哲)＝H19長野東バイパス布野地区橋梁詳細設計業務委託▽応用地質長野支店(松井宏樹)＝H20斜面崩壊検知センサー保守業務
【甲府河川国道事務所】
〈優良工事・優秀技術者〉▽秋山土建(西野邦彦)＝H19山中舗装修繕工事▽植野興業(大石剛)＝共和防災工事▽日本道路建装(大野幸四郎)＝H20大和道路維持工事▽早野組＝上岩崎・原交差点他改良工事▽両(土屋勝彦)＝波木井防災工事▽昭和建設＝稲久保函渠設置工事▽加藤建設(佐野優)＝沖村橋梁(その2)工事▽川田建設東京支店＝貢川橋上部架設他工事
〈優良下請企業・優秀下請技術者〉▽日本ケーモー工事(小松誠)＝稲久保函渠設置工事
〈優良業務・優秀技術者〉▽東京建設コンサルタンツ関東支店(原木功)＝富士川中流地区予備設計業務▽建設技術研究所(前田信幸)＝H20交通事故対策実施権等業務▽中日本高速道路東京支社(長岡隆弘)＝H20中部横断道設計等監理支援業務▽日本工営甲府営業所(新屋浩明)＝H20管内防災点検・詳細設計業務▽大日本コンサルタント東京支社(諏訪部宏之)＝H20中部横断道梅川橋詳細設計
【横浜営繕事務所】
〈優良工事・優秀技術者〉▽扶桑電機(古萱勝)＝横浜地方気象台増築棟電気設備その他工事。